

# 2025年12月期 決算説明資料

---

2026年2月25日



日本フェンオール株式会社

東証スタンダード | 6870

# Contents

目次

<b>00</b>	中期経営計画（2025-2028）の概要	P3
<b>01</b>	2025年12月期 連結決算業績報告	P6
<b>02</b>	2026年12月期 連結業績予想	P17
<b>03</b>	投資計画、経営目標・配当方針	P23
<b>04</b>	会社概要・沿革・製品紹介	P26

# 00

- 00 | 中期経営計画（2025-2028）の概要
- 01 | 2025年12月期 連結決算業績報告
- 02 | 2026年12月期 連結業績予想
- 03 | 投資計画、経営目標・配当方針
- 04 | 会社概要・沿革・製品紹介

## 基本方針

### コア事業の強化

防災・制御技術を基盤とした  
販路拡大と体制の強化

### 資本収益の向上

資本政策推進と収益構造の  
見直しによる収益性の確保

## 年度別の主な取組み

2025-2026

基本の徹底と  
変化への挑戦

- (1) 新製品開発
- (2) リソースの選択と集中
- (3) ISO9001再取得
- (4) 人財投資  
(待遇見直し育成強化)

2027-2028

持続的な成長  
の実現

- (1) 新製品販売も含めた  
コア事業の収益力強化
- (2) 工場の生産性向上
- (3) 開発拠点のリニューアル
- (4) 人事制度の見直し  
採用促進

## 中期経営計画の目標

### 収益基盤の安定

営業利益10億円以上  
(営業利益率10%以上)

### 資本効率の改善

ROE 6%以上

### 資金配分総額 (2025~2028)

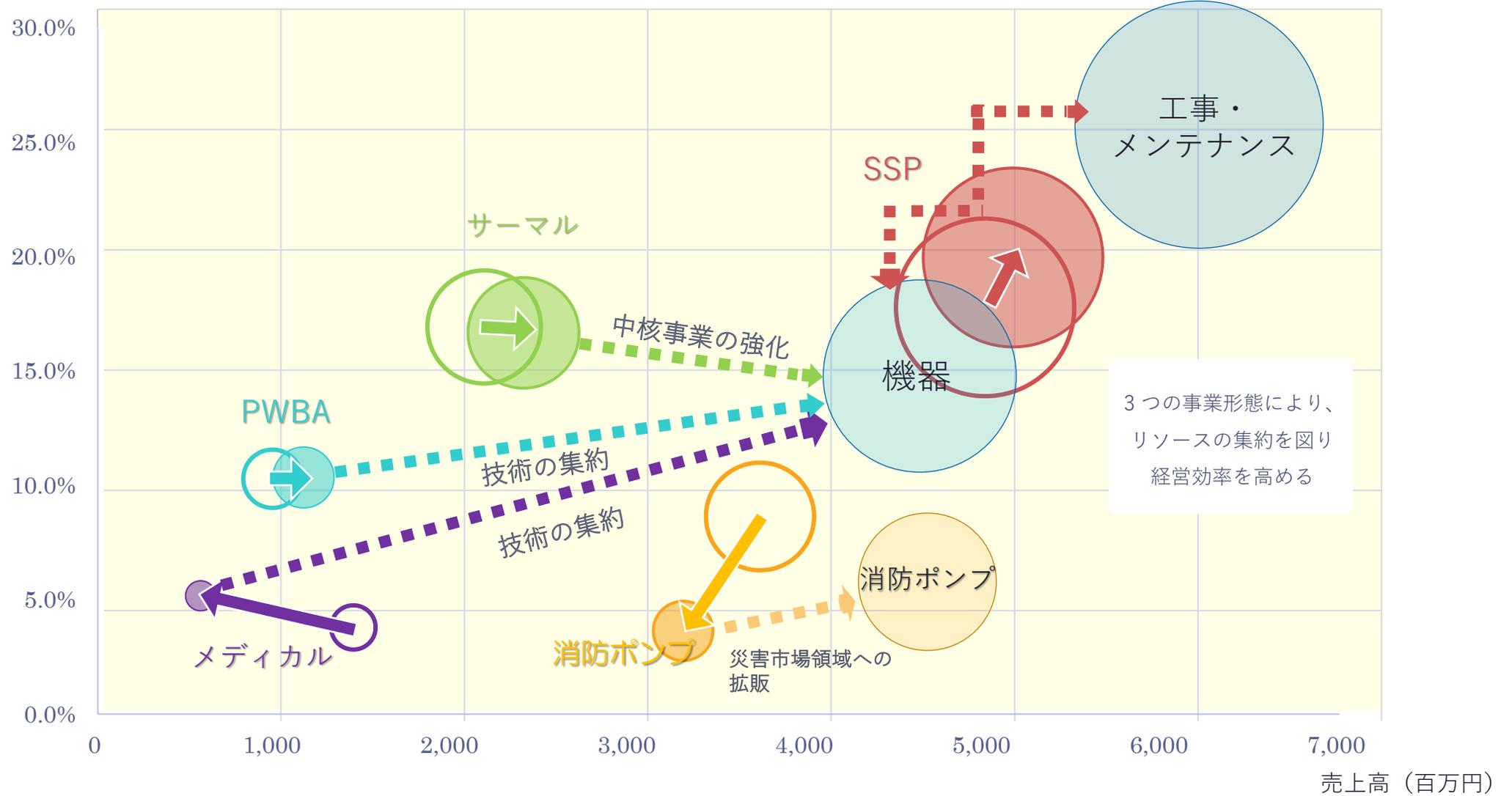
- ・ 成長投資48億円
- ・ 株主還元17億円

# 00 当社の目指す事業ポートフォリオ

営業利益率 (%)

円：2025年実績 → 2026年計画 → 将来の目指す姿 (イメージ)

円面積：連結調整控除前営業利益



# 01

- 00 中期経営計画（2025-2028）の概要
- 01 2025年12月期 連結決算業績報告**
- 02 2026年12月期 連結業績予想
- 03 投資計画、経営目標・配当方針
- 04 会社概要・沿革・製品紹介

## ■業績

- ・受注高：主にガス消火設備、消防ポンプ関連が前期比で大幅に増加
- ・売上高：スプリンクラー消火設備、爆発抑制装置及び半導体製造装置向けセンサーが順調に推移したものの微増
- ・営業利益：試験研究費などの販管費の増加で前期比減益
- ・当期純利益：海外子会社清算による特益計上等により増加

### 受注高

14,098 百万円  
(前期比+15.5%)

### 売上高

12,909 百万円  
(前期比+3.1%)

### 営業利益

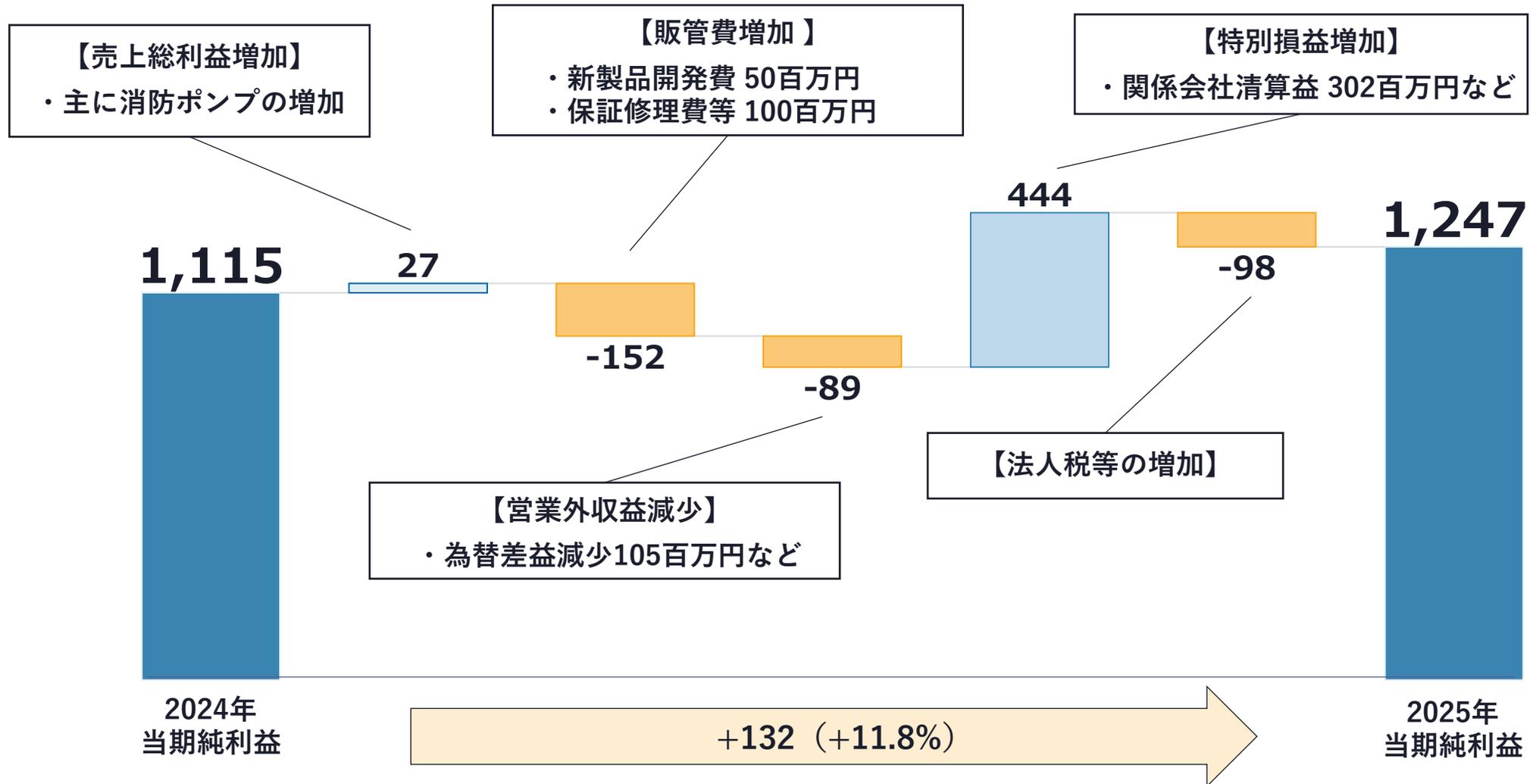
1,056 百万円  
(前期比▲10.6%)

### 当期純利益

1,247 百万円  
(前期比+11.8%)

# 前期比 当期純利益増減要因

(百万円)



(百万円)

項 目	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2024年 実績	2025年度			
					* 計 画	実 績	前期比	計画比
受 注 高	12,829	12,914	11,859	12,207	12,948	14,098	1,891	1,150
売 上 高	12,372	12,401	12,601	12,515	12,900	12,909	394	9
売 上 総 利 益	3,902	4,045	4,010	4,135	4,043	4,162	27	119
利 益 率	31.5%	32.6%	31.8%	33.0%	31.3%	32.2%	▲0.8pt	0.9pt
販 管 費	2,632	2,735	2,975	2,953	3,143	3,106	153	▲37
営 業 利 益	1,270	1,310	1,035	1,181	900	1,056	▲125	156
営 業 利 益 率	10.3%	10.6%	8.2%	9.4%	7.0%	8.2%	▲1.2pt	1.2pt
経 常 利 益	1,338	1,479	1,159	1,359	860	1,144	▲215	284
特 別 損 益	▲655	▲392	▲571	102	392	545	443	153
当 期 純 利 益	387	826	385	1,115	930	1,247	132	317
R O E	3.3%	6.8%	3.1%	8.5%	6.6%	8.8%	0.3pt	2.6pt

\* 計画：2025年7月31日付 業績予想修正後の数値

# セグメント別業績



(百万円)

項目	セグメント	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	前期比
受注高	S S P	5,570	4,991	5,261	4,536	5,881	1,345
	サ ー マ ル	2,517	2,807	1,573	2,010	2,293	283
	メ ディ カ ル	1,309	1,151	1,331	1,423	1,249	▲174
	P W B A	1,224	1,220	862	1,007	931	▲76
	消 防 ポ ン プ	2,207	2,745	2,830	3,229	3,742	513
	合 計	12,829	12,914	11,859	12,207	14,098	1,891
売上高	S S P	5,205	5,330	4,841	5,162	4,839	▲323
	サ ー マ ル	1,876	2,236	2,555	2,027	2,108	81
	メ ディ カ ル	1,290	1,158	1,291	1,448	1,395	▲53
	P W B A	1,126	1,231	912	995	954	▲41
	消 防 ポ ン プ	2,873	2,444	3,001	2,882	3,612	730
	合 計	12,372	12,401	12,601	12,515	12,909	394

# セグメント別業績



(百万円)

項目	セグメント	2021年		2022年		2023年		2024年		2025年		前期比
		金額	利益率									
営業利益・営業利益率	S S P	1,126	21.6%	1,190	22.3%	744	15.4%	1,263	24.5%	852	17.6%	▲411
	サ ー マ ル	463	24.7%	516	23.1%	542	21.2%	380	18.7%	354	16.8%	▲26
	メ ディ カ ル	70	5.4%	53	4.6%	121	9.4%	56	3.9%	60	4.3%	4
	P W B A	112	9.9%	125	10.2%	90	9.9%	106	10.7%	100	10.6%	▲6
	消 防 ポ ン プ	149	5.2%	51	2.1%	203	6.8%	43	1.5%	322	8.9%	279
	合 計	1,923	15.5%	1,936	15.6%	1,701	13.5%	1,850	14.8%	1,690	13.1%	▲160
	連 結 調 整 額	▲652		▲626		▲667		▲668		▲633		—
	調 整 後 営 業 利 益	1,270	10.3%	1,310	10.6%	1,035	8.2%	1,181	9.4%	1,056	8.2%	▲125

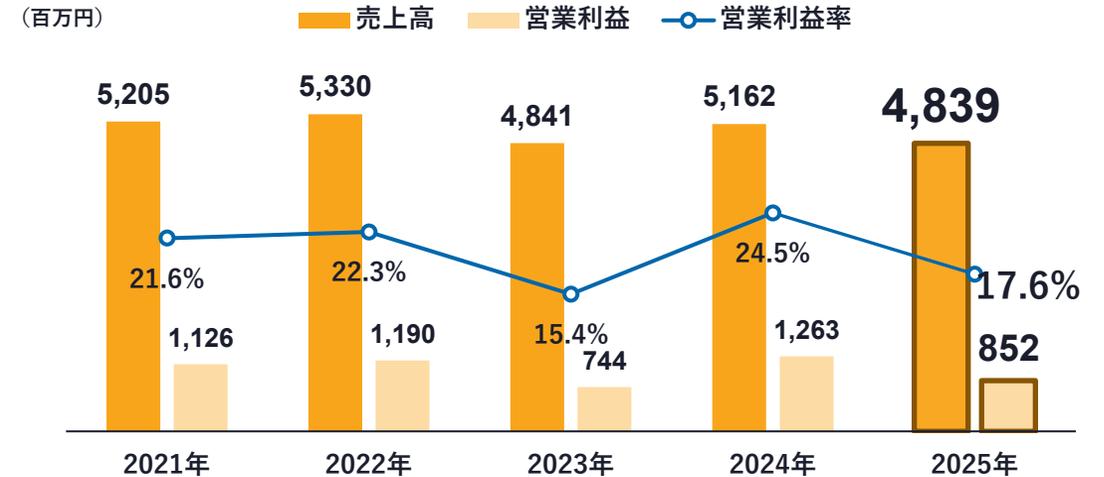
## 業績

- 機器は、防爆型煙感知器の販売増加により前期比約7%の増収
- 工事は、スプリンクラー消火設備と爆発抑制装置については順調に推移したものの、制御盤や改修工事が落ち込みの影響もあり、防災全体では約6%の減収

## 主な取組み

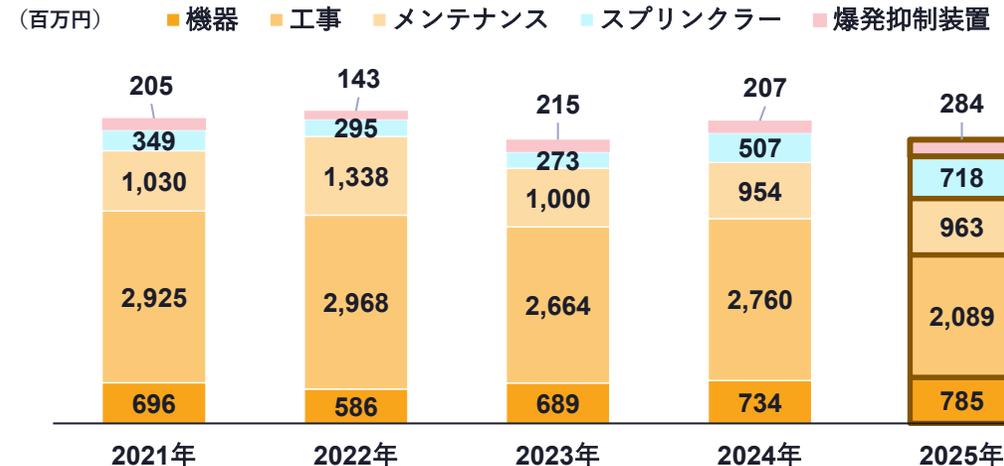
- 消火設備工事はゼネコンやサブコンへのスペックイン営業を強化
- 長野県を中心にスプリンクラー消火設備の需要取り込み
- 新製品3アイテムの開発  
(熱感知器・ガス消火設備・爆発抑制装置)

## 売上高・営業利益(率)の推移



※ 営業利益は、連結調整額控除前の数値

## 製品別売上高の推移



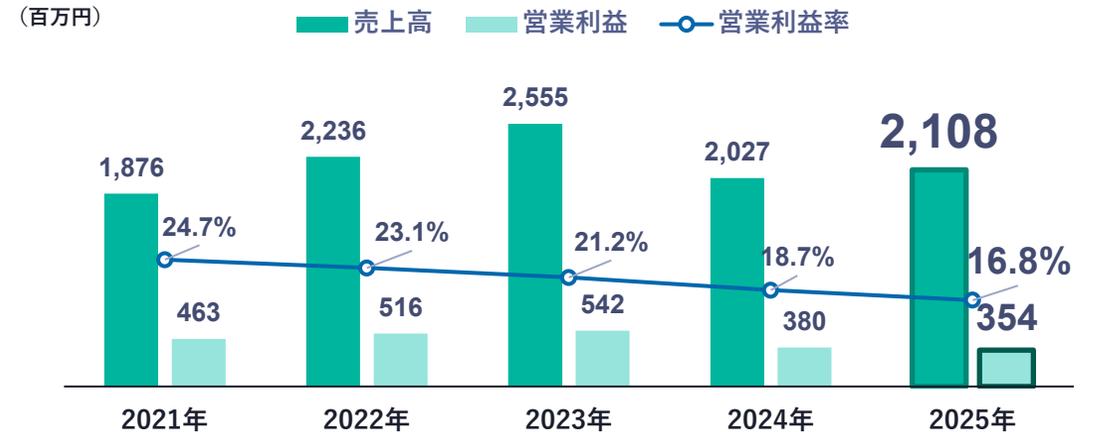
## 業績

- センサーの売上増加を主因に約4%の増収となるも、製造経費の増加もあり営業利益は減益
- 活況が予想される半導体製造装置市場に追従するための生産体制を強化

## 主な取組み

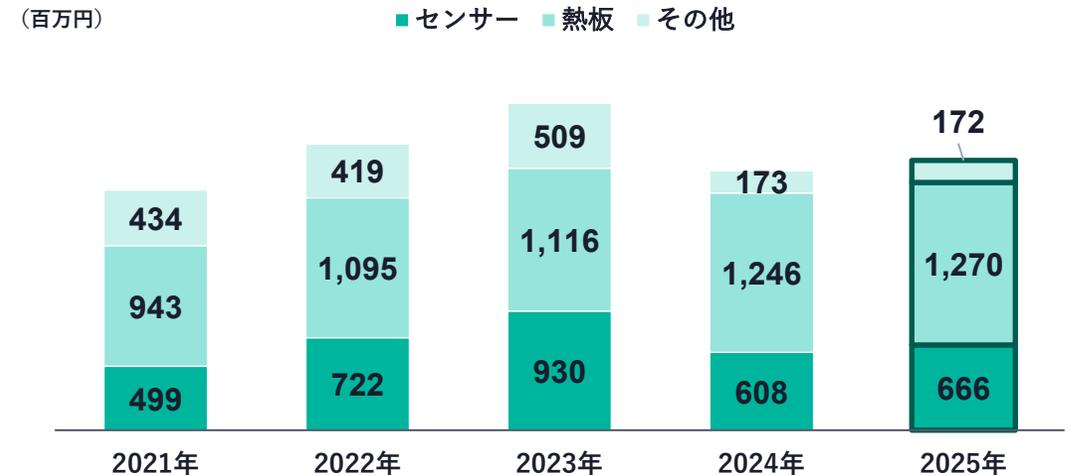
- 半導体製造装置メーカーへの技術営業を積極的に展開
- 熱板及びセンサーの需要の取り込みと採算性を意識した安定受注確保に注力
- 開発と生産の連携による、品質向上とコスト削減への取り組み強化

## 売上高・営業利益（率）の推移



※ 営業利益は、連結調整額控除前の数値

## 製品別売上高の推移



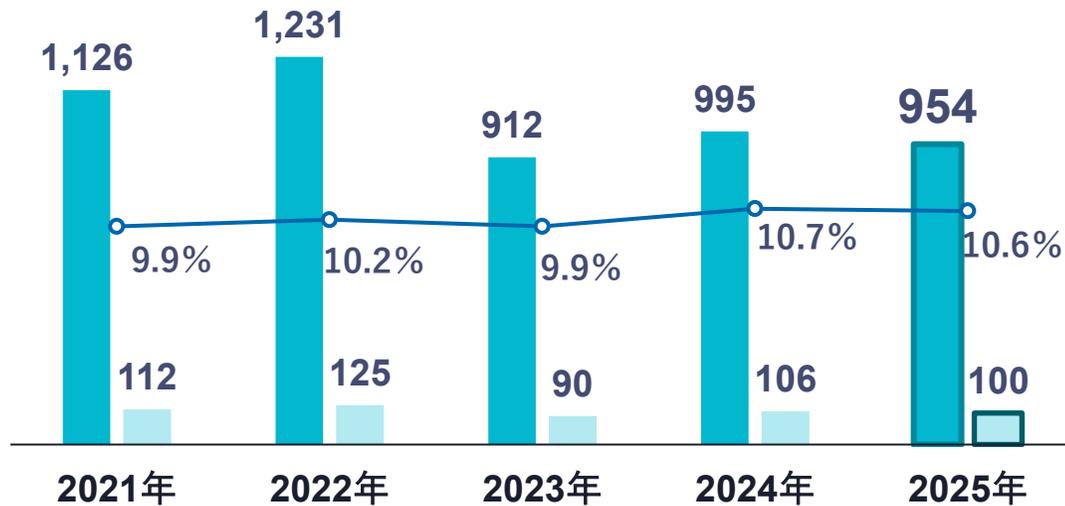
## ■PWBA

### 事業概況

- ・事務機器及び産業機器向けを中心に前期比微減

### 売上高・営業利益（率）の推移

(百万円) ■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率



※ 営業利益は、連結調整額控除前の数値

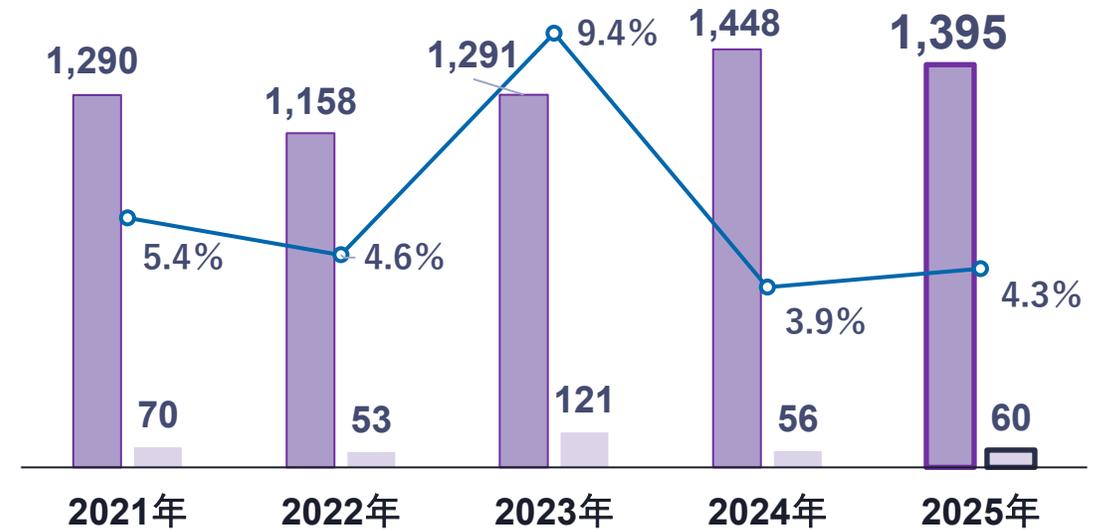
## ■メディカル

### 事業概況

- ・人工腎臓透析装置の受託生産終了に向けた調整により売上高は減少

### 売上高・営業利益（率）の推移

(百万円) ■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率



\* 取扱い製品概要は、P33を参照下さい

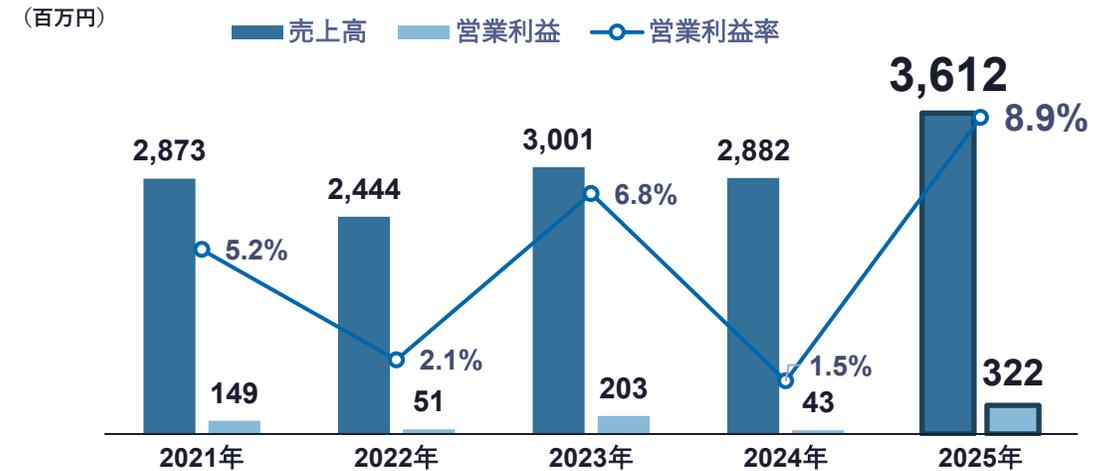
## 業績

- 大口案件(消防ポンプ積載車とオーバーホール)と海外向け可搬式消防ポンプの需要増加を主因に売上高は前年比25% (730百万円)増収
- 大口案件及び消防ポンプ積載車の採算が改善し、営業利益は過去5年間で最高益

## 主な取組み

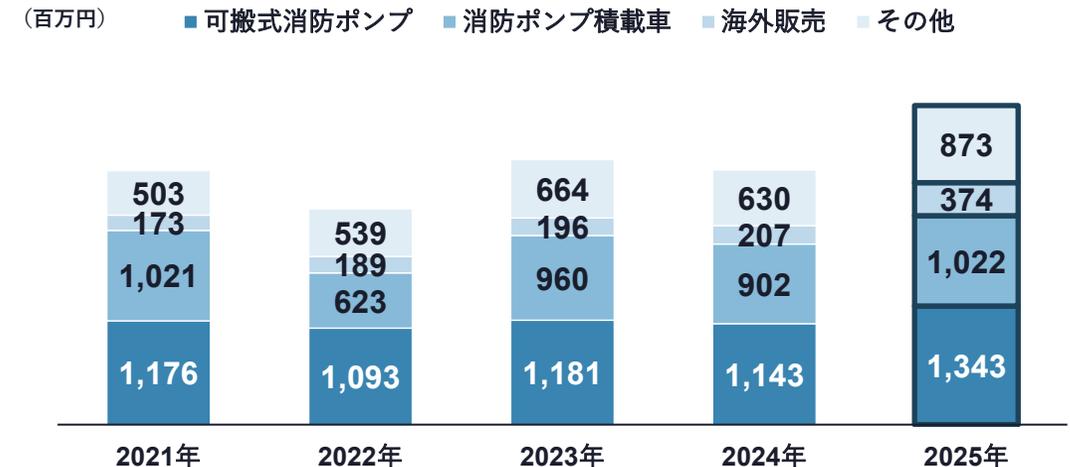
- 可搬式消防ポンプの買換需要の喚起
- 消防ポンプ積載車の仕様標準化
- 業務改善による収益性向上
- その他災害製品（非常用浄水器等）の営業推進

## 売上高・営業利益（率）の推移



※ 営業利益は、連結調整額控除前の数値

## 製品別売上高の推移



- ・現預金：短期借入の一時返済、中小受託事業者への支払い期日短縮化等により減少
- ・棚卸資産：消防ポンプ事業の一時的な在庫積み増しにより増加
- ・投資有価証券：保有株式の時価上昇により増加

(百万円)

科目		2024年末	2025年末	増減	科目		2024年末	2025年末	増減
流動資産	現預金	6,289	4,830	▲1,459	負債	買掛債務	2,223	1,362	▲861
	売掛債権	4,344	3,918	▲426		借入金	1,240	622	▲618
	棚卸資産	3,119	3,412	293		製品保証・改修引当金	824	612	▲212
	その他	90	82	▲8		その他	1,650	2,024	374
	合計	13,842	12,242	▲1,600		合計	5,937	4,620	▲1,317
固定資産	有形無形固定資産	2,477	2,868	391	純資産	株主資本	11,872	12,700	828
	投資有価証券	2,883	3,587	704		その他	1,713	1,907	194
	その他	318	531	213		合計	13,585	14,607	1,022
	合計	5,679	6,986	1,307					
資産合計		19,521	19,228	▲293	負債純資産合計		19,521	19,228	▲293

# 02

- 00 中期経営計画（2025-2028）の概要
- 01 2025年12月期 連結決算業績報告
- 02 2026年12月期 連結業績予想**
- 03 投資計画、経営目標・配当方針
- 04 会社概要・沿革・製品紹介

## 事業ポートフォリオ最適化を推進し、持続的成長に向けた基盤を構築

### 連結業績計画

(百万円)

	2025年		2026年	
	(中期計画)	実績	(中期計画)	計画
売上高	11,600	12,909	11,700	12,600
営業利益	500	1,056	700	1,030
営業利益率	4.3%	8.2%	6.0%	8.2%
経常利益	545	1,144	735	1,100
当期純利益	619	1,247	621	880
ROE	4.7%	8.8%	4.8%	6.0%

### 基本方針

- ・ SSP事業の施工管理体制の強化
- ・ サーマル事業の利益率改善
- ・ 消防ポンプ事業の収益性向上
- ・ 工場の生産体制最適化による原価低減

### 概要

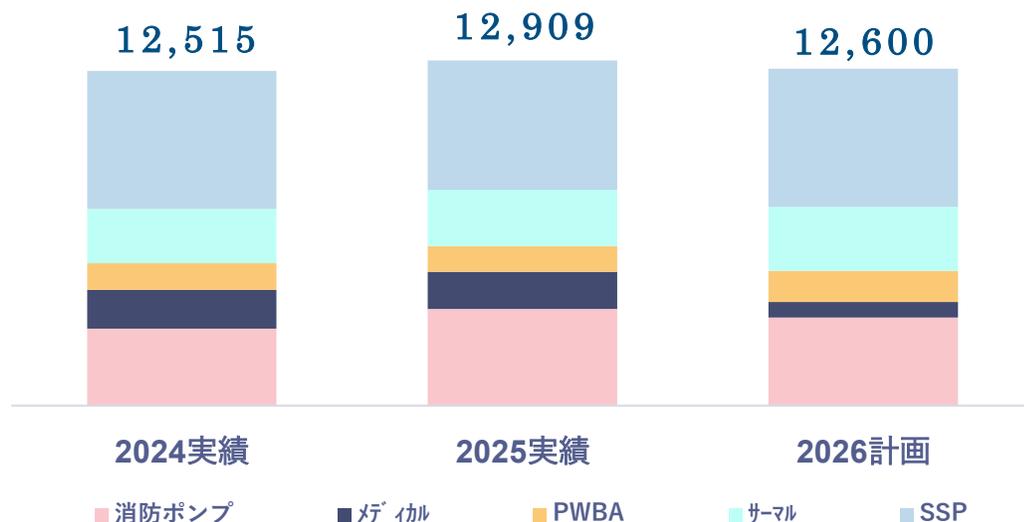
コア事業であるSSP事業・サーマル事業において、自社の強みを活かした戦略的な営業を推進するとともに、コスト構造の見直し、安定した営業利益を確保することにより、2026年度で終息する人工腎臓透析装置（※）の減収分を吸収する。

（※）売上高1,500百万円・営業利益60百万円

また、メーカーとして、防災や半導体の分野における社会のニーズに貢献できる製品開発に注力するとともに、生産体制の整備・強化と品質向上に努める。

# 2026年セグメント別計画

## 売上高 (百万円)



## 営業利益 (百万円)



セグメント	2024年実績	2025年実績	2026年計画	25年⇒26増減
SSP	5,162	4,839	5,160	+ 321
サーマル	2,027	2,108	2,400	+ 292
PWBA	995	954	1,160	+ 206
メディカル	1,448	1,395	580	▲ 815
消防ポンプ	2,883	3,612	3,300	▲ 312
<b>合計</b>	<b>12,515</b>	<b>12,909</b>	<b>12,600</b>	<b>▲ 309</b>

セグメント	2024年実績	2025年実績	2026年計画	25年⇒26増減
SSP	1,263	852	1,030	+ 178
サーマル	380	354	400	+ 46
PWBA	106	100	120	+ 20
メディカル	56	60	30	▲ 30
消防ポンプ	43	322	120	▲ 202
<b>合計</b>	<b>1,850</b>	<b>1,690</b>	<b>1,700</b>	<b>+ 10</b>
連結調整額	▲668	▲633	▲670	▲ 37
連結調整後	1,181	1,056	1,030	▲ 26

## 既存製品の収益性の改善と、新製品開発に注力

### 爆発抑制装置

\* 製品仕様はP29を参照してください

粉塵爆発のリスクが高い  
設備への自主設置の増加

(例)  
食品、化学、バイオマス発電設備等



### 1 爆発抑制装置

- ・資本業務提携先の西華産業との協業による営業推進
- ・次期爆発抑制装置の性能を評価中
- ・爆発抑制実験の見学会実施による性能PR

### 2 ガス消火設備

- ・電力等の基幹産業向け大型案件の減少による売上低下
- ・基幹産業向けスペックイン営業を推進
- ・新消火ガスを使用した消火設備を開発中 (2027年上市)

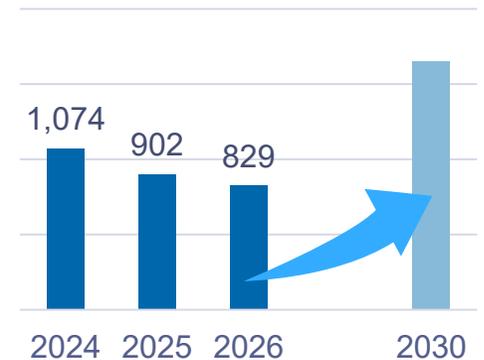
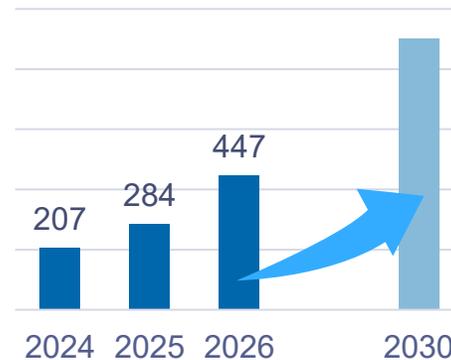
### ガス消火設備

様々な環境に適合できる  
ガス消火システムを提供  
今後、データセンター、  
防衛関連等の需要増加が  
見込まれる



爆発抑制装置 (百万円)

ガス消火設備 (百万円)



## 要素技術開発と生産体制強化への取り組み



### 1 生産体制の強化

半導体製造装置市場の需要増加に伴い、生産能力向上に資する製造設備と人財への積極投資

### 2 営業体制

次世代の半導体製造装置向けの需要獲得に向け、主要顧客への技術営業を強化



## 「消防・防災」の取扱い製品の拡充と収益性改善への取り組みを推進



- ・ 非常用浄水装置
- ・ 災害用排水ポンプ
- ・ 背負式水のおう
- その他防災製品

可搬式消防ポンプの国内市場が成熟期を迎え、その他防災製品のラインナップ拡充を推進するなど、付加価値を高めた製品の創出を図る

### 1 販売強化への取り組み

- ・ 可搬式消防ポンプの買替需要の着実な取り込み
- ・ 消防ポンプ積載車の仕様標準化と原価改善
- ・ 非常用浄水装置などの災害対策製品の営業強化

### 2 製品開発の加速

- ・ 既存の非常用浄水装置のモデルチェンジ
- ・ 小型浄水機の新規開発



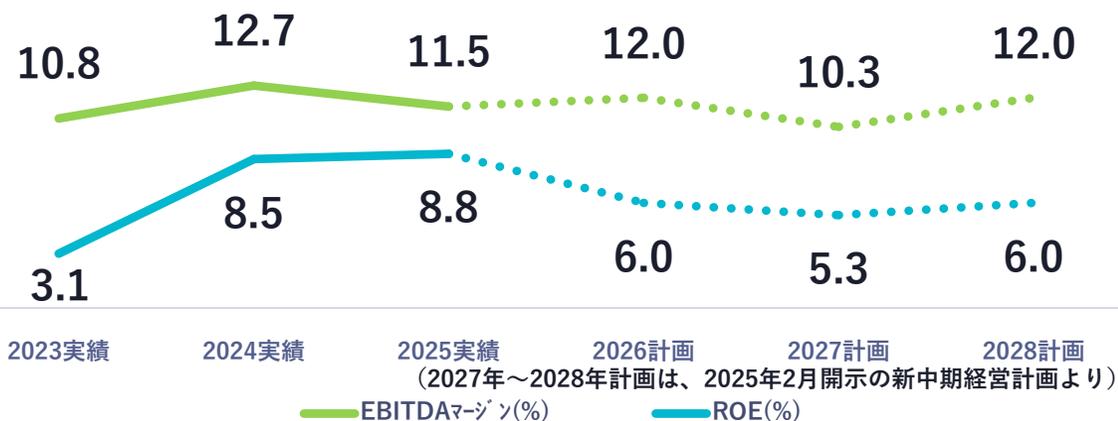
# 03

- 00 | 中期経営計画（2025-2028）の概要
- 01 | 2025年12月期 連結決算業績報告
- 02 | 2026年12月期 連結業績予想
- 03 | 投資計画、経営目標・配当方針**
- 04 | 会社概要・沿革・製品紹介

(億円)

主な戦略投資内容	2025年	2026年	2027年	2028年	合計	投資概要
シバウラ防災製作所 新工場建設	3.0	13.0			16.0	事業継続のための計画的設備投資
R&Dセンター開発棟建替		2.0	10.0		12.0	要素技術の深化など製品開発の環境整備
生産設備更新	1.0	2.0	2.0	2.0	7.0	コア事業（SSP・サーマル）を中心とした設備更新
研究開発費	1.0	1.5	1.5	1.0	5.0	新製品3アイテム他、新製品開発に向けた要素技術を深化
人財投資	1.0	1.0	1.0	1.0	4.0	採用・育成強化と働きやすい職場環境の実現
システムリプレイス		1.0	0.5	1.0	2.5	基幹システムや通信環境の刷新とセキュリティ強化
本社事務所リニューアル	1.0				1.0	業務効率化、IT環境の向上、事務用什器の刷新
広告宣伝費		0.5			0.5	企業価値向上に向けた情報発信や地域社会への貢献
合計	7.0	21.0	15.0	5.0	48.0	

## 経営指標推移



## 経営目標

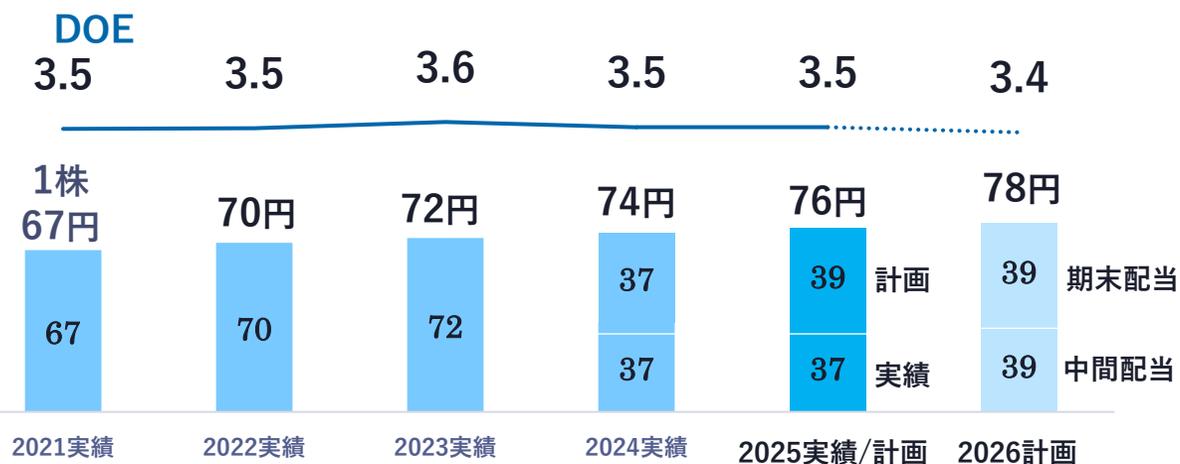
**2028年度 EBITDAマージン目標値 12%**

キャッシュフローベースでの採算性を重視するため、収益力指標としてEBITDAマージンを採用。

**2028年度 ROE 目標値 6.0%以上**

資本コストを意識し ROE 向上に努める。

## 配当金・DOE推移



## 配当方針

**DOE 3.5% 程度を目安**

安定的な配当を継続するために DOE を指標とする。企業体質の強化と今後の事業展開に備える内部留保を考慮し、可能な範囲で積極的な利益還元を実施。

# 04

- 00 | 中期経営計画（2025-2028）の概要
- 01 | 2025年12月期 第2四半期連結決算
- 02 | 2025年12月期 連結業績予想
- 03 | 投資計画、経営目標・配当方針
- 04 | 会社概要・沿革・製品紹介**

# 会社概要

会社名	日本フェンオール株式会社
代表者	代表取締役社長 中野 誉将
設立日	1961年5月24日
上場市場	東証スタンダード市場
資本金	996,600,000円
従業員数	271名（連結）（2025年12月末現在）
本社所在地	東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号
大株主	<ul style="list-style-type: none"> <li>• THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD</li> <li>• 西華産業株式会社</li> <li>• 株式会社吉田ディベロプメント</li> <li>• 東レ・メディカル株式会社</li> </ul>
取引銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 三井住友銀行</li> <li>• 八十二長野銀行</li> <li>• 三菱UFJ銀行</li> <li>• 三井住友信託銀行</li> </ul>
関連子会社	株式会社シバウラ防災製作所

# 沿革

1961	米国FENWAL社、三井物産株式会社、日本電熱株式会社の合併会社として設立
1967	長野工場建設 （SSP、サーマル製品本格生産開始）
1971	八王子センター（現R&Dセンター）建設 研究開発活動本格開始
1988	米国FENWAL社保有株式62%買取
1996	株式を店頭公開
1997	長野工場増設
2004	ジャスダック証券取引所 株式上場
2015	東京証券取引所市場第二部 株式上場
2022	東京証券取引所の市場区分変更再編によりスタンダード市場上場
2024	西華産業株式会社と資本業務連携

火災警報装置、消火装置、爆発抑制装置の開発・製造・販売および同システムの設計・施工・保守およびエンジニアリングサービス

## 主な取扱い製品



• 熱・煙感知器



• 制御ユニット



• HRD抑制剤容器



• ガス消火設備



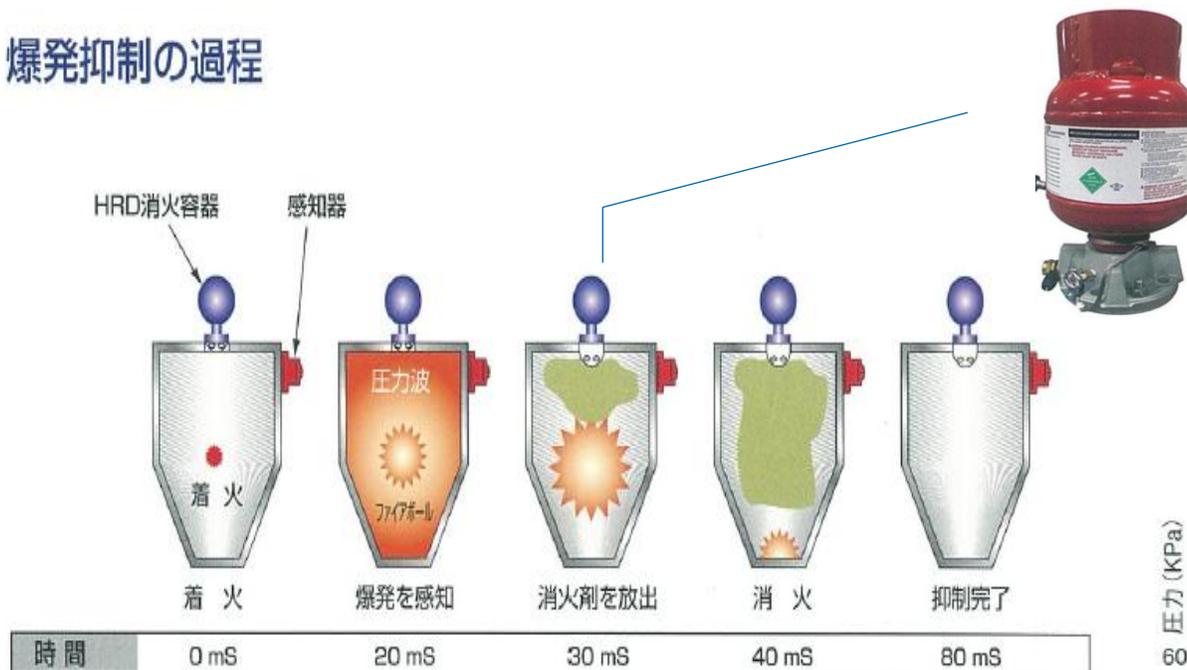
• S-NET制御盤



• 爆発抑制装置

# 製品説明 爆発抑制装置の原理

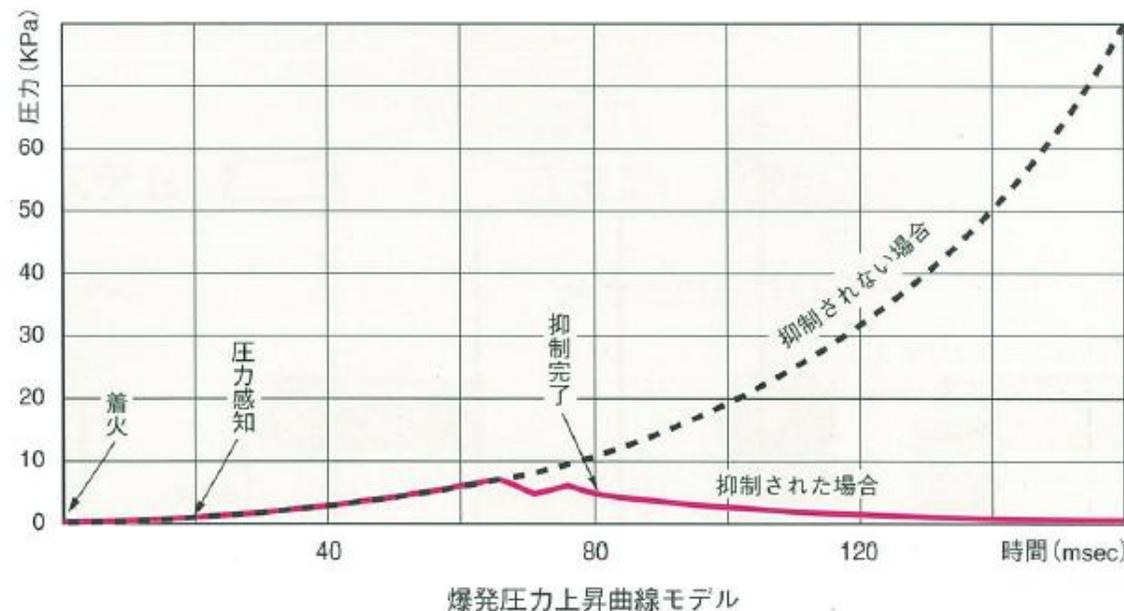
## 爆発抑制の過程



圧力上昇を伴うスピードの速い燃焼初期の立ち上がりをとらえて消火抑制し粉じん爆発を防ぎ、隣接区域の二次爆発も防止する。

1mS = 0.001秒

圧力波を検出するとエアバッグのように瞬時に消火剤を噴出する。



温度調整器、半導体製造装置用熱板および装置、高温炉用熱電対、その他温度制御機器等の  
開発・製造・販売、同システムの設計・サービス

## 主な取扱い製品

### ・ 熱板 (ホットプレート)



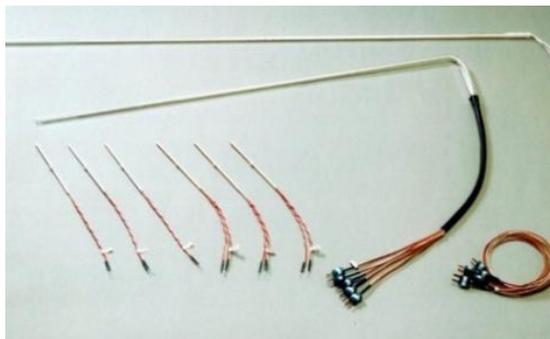
半導体製造 (前) 工程の  
コータデベロッパ内で  
ウェーハ熱処理プロセス  
で使用

### ・ サーマスイッチ



電源不要で金属や液体の膨張  
特性を利用した温度調節器  
(一部の鉄道車両にも採用)

### ・ 温度センサー (特殊用途熱電対)



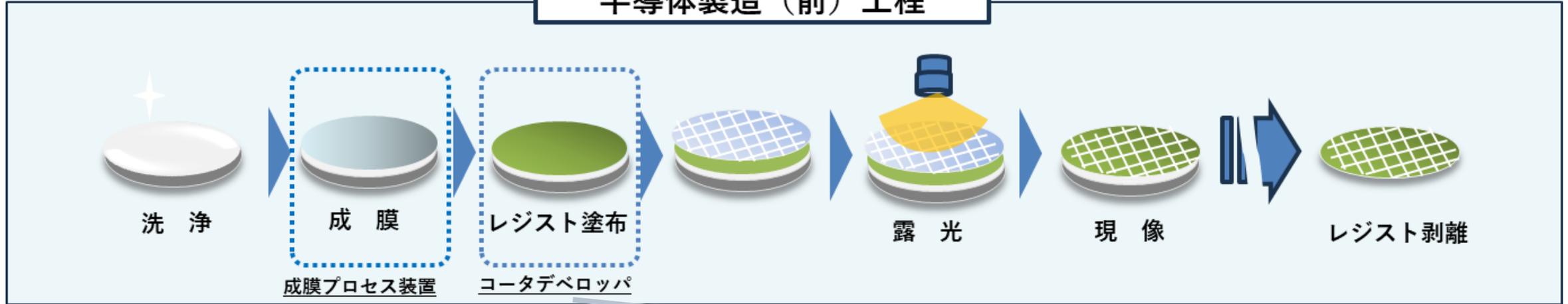
半導体製造 (前) 工程の  
成膜プロセス装置内で  
高温炉内部の温度感知  
に使用

### ・ 温度調節器

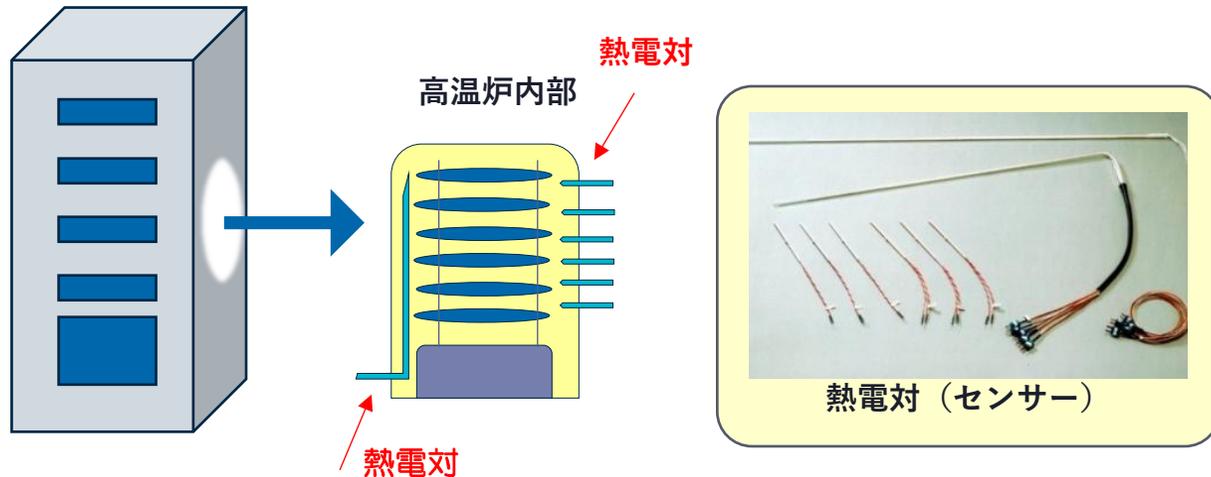


様々な装置の温度制御に使用  
(理科学機器、成形機など)

半導体製造 (前) 工程

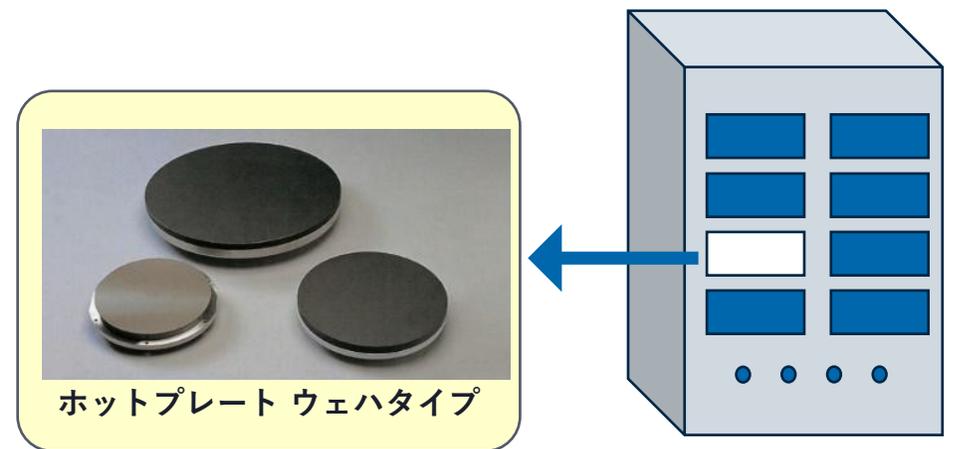


成膜プロセス装置



高温 (800°C~1100°C) の高温炉へ当社のセンサが採用

コータデベロッパー



温度均一性に優れた当社アルミ製ホットプレートがコータデベロッパーに採用

## ■ PWBA

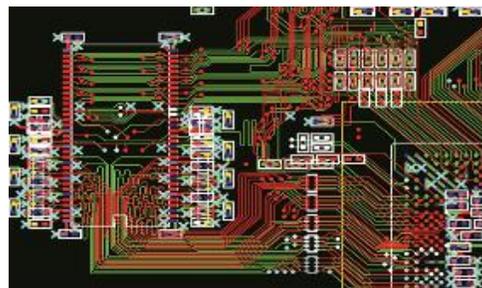
プリント基板実装組立、アートワーク設計、ノイズ(EMC)対策

### 主な取扱い製品

- ・実装マウンターライン



- ・基板パターン設計



- ・基板実装



- ・アッセンブリ



## ■ メディカル

医療機器の開発・設計・製造・サービス

### 主な取扱い製品

- ・血圧計



- ・アイシングシステム  
局部冷却装置



- ・人工腎臓透析装置



※2026年12月受託生産終了

消防ポンプ、消防車、保守ポンプ、全自動消火システム等の消防・防災機器の開発・製造・販売

## 主な取扱い製品



• 可搬式消防ポンプ



• 災害用排水ポンプ



• 消防ポンプ積載車



• 背負式水のう



• 全自動保安ポンプ



• 非常用浄水装置



• 水陸両用バギー



• 可搬消防ポンプ点検器具



**日本フェンオール株式会社**  
FENWAL CONTROLS OF JAPAN, LTD.

お問い合わせ先

日本フェンオール株式会社 執行役員 管理本部長 中島 昭

E-mail

[akira.nakashima@fenwal.co.jp](mailto:akira.nakashima@fenwal.co.jp)

住所

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号

電話

03-3237-3561

#### 注意事項

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、特に見通し情報等につきましては、市場環境、為替レート等々様々なリスクや不確実性を内包しておりますので、当社の予測とは異なる可能性があります。